



第80巻 第3号
年4回発行
社会福祉法人 慈生会
〒165-0022
東京都中野区江古田3-15-2
TEL 03-3387-5567
http://www.jiseikai.jp
振替口座 ベタニアの家
00170-6-15317

老人福祉法から介護保険法へ
今後の事業活動計画について

高野 優一

聖ヨゼフ老人ホームは、社会福祉法人慈生会創立者ヨゼフ・フロジャク神父が生涯を苦しむ人、悩む人の友でありたい、これらの人々のために家族になりたいとの実現のひとつとして一九七四年に設立されました。
当時の日本は高度経済成長期の只中にあり、人口が地方から都市部に流出し核家族化が進んだことにより、家庭内の互助機能が低下し、これまで家族の責任とされてきた高齢者の扶養が難しくなってきた時代でした。
このような状況の中、老人福祉法が一九六三年に施行されましたが、老人福祉法は、「助けを必要とする弱者を公費で支える」といった高齢者のための社会福祉制度であり、高齢者の介護が目的ではありませんでした。

草が必要となりました。
このような経過を経て、二〇〇〇年に介護保険法が施行され、「介護が必要な人を社会全体で支えるための制度」が整ったわけです。しかしながら介護保険制度開始から僅か二〇年で、要介護（要支援）認定者は二一八万人から六六九万人と、およそ三倍に増加しました。団塊の世代が後期高齢者（七五歳以上）に達すること、年金や医療、介護などの社会保障の必要性が急増する二〇二五年問題は同時に多死社会の到来も意味しており、事実、聖ヨゼフ老人ホームでも看取り件数は年々増加を続けています。
しかし死亡者の将来推計によると、今後、二〇二〇年から二〇四〇年の二〇年間は十八%増加を続けますが、二〇四〇年以降は減少に転じることが分かっています。つまり、二〇四〇年以降、「ハード過剰問題」が起これるというのです。
以上、老人福祉法から介護保険法への変遷や今後の人口推計を踏まえた上で、アクションプラン二〇二五（二〇二一～二〇二五年度中期行動計画）の社会福祉法人経営原則十項目に沿って、今後の聖ヨゼフ老人ホーム事業活動計画について述べたいと

思います。

【公益性】地域との繋がりを意識した事業活動（自治体と共同の非常災害訓練や地域住民向けの介護教室の開催等）を積極的に展開します。

【継続性】良質なサービスを安定的に提供する為、経営基盤の強化（介護報酬改定への迅速な対応による介護保険収入の確保や現場での創意工夫による人件費や光熱費等の削減）、躯体の老朽化に伴う建て替え又は大規模修繕を計画します。

【透明性】積極的な情報公開（入居者ご家族様への情報発信の創意工夫、ホームページの充実、近隣自治体との交流等）を行なっていきます。

【倫理性】公正、誠実な倫理観に基づくサービスが提供できるよう、権利擁護やカトリック法人内研修を継続的に行なっていきます。

【非営利性】事業活動で得られた収益を、地域の生活課題（低所得者に対する軽減措置の拡充）や福祉需要に還元します。

【開拓性】地域包括支援センターとの関係強化を図り、制度の隙間にある人々への働きかけを行います。

【組織性・主体性】研修制度の充実を図ることで計画的に人材育成、組織マネジメントに取り組みます。

【効率性・機動性】情報端末機器を活用することで業務の効率化を図り、余暇活動の充実を行います。
今後も創立者フロジャク神父の遺志を引き継ぎ、苦しむ人、悩める人に寄り添える事業運営に邁進していきます。

（聖ヨゼフ老人ホーム 施設長）

ベタニアの家 永年勤続表彰者

（三十年表彰）

ナザレットの家 小林 一美
ナザレットの家 花田 妙子

（二十年表彰）

徳田保育園 中根 美帆
ナザレットの家 佐藤かずみ
ベトレヘム学園 中本 次郎
マ・メゾン光星 小野崎孝史
ベタニア・テイ・ホーム 山田 泰子
ベトレヘムの園病院 ベトレヘムの園病院 宮澤 典子
ベトレヘムの園病院 ベトレヘムの園病院 大森 幸江

（十年表彰）

ナザレットの家 草間 良子
ベトレヘム学園 岡田あさみ
ベトレヘム学園 早川 美里
マ・メゾン光星 白井 智子
マ・メゾン光星 中嶋 竜一
マ・メゾン光星 斎藤さつき
聖家族ホーム 寺島 啓子
聖家族ホーム 寺島 澄生
聖家族ホーム 宮里 和子
聖家族ホーム 長谷川律子
聖ヨゼフ老人ホーム 大迫 礼子
聖ヨゼフ老人ホーム 津田 隆昌
ベタニアホーム 長沼 達也
ベタニア・テイ・ホーム 佐藤 裕子
ベトレヘムの園病院 ベトレヘムの園病院 山口 則子
ベトレヘムの園病院 湖屋 潔
ベトレヘムの園病院 岩川 祥平
ベトレヘムの園病院 須田加矢子

東星学園の新しい取り組み

大矢 正則

フロジャク神父様が立ち上げられた事業のうち、唯一の学校である東星学園では、近年いくつかの新しい取り組みを始めました。

この十五年間で最も大きかったことは、二〇〇八年度からの中高部の共学化です。中一から順次共学化（それまではしばらく女子校でした）、二〇一三年度に高三までの共学化が完成しました。既に八回の卒業生を輩出しています。

今年二〇二二年度には、中高部の制服を新しくしました。「ひとり一人違うからいい」というメッセージを込めて、多彩な組み合わせができるよう、標準的な制服であるブレザー、ワイシャツ、スラックス（女子用もあり）、スカートの他に、セーター、ポロシャツ、ベストを各二色ずつ用意し、多様な組み合わせで、ひとり一人が輝けるようにしました。

また、ICT教育にも力を入れ、今年度入学の中学一年生と高校一年生から、BYOD (Bring Your Own Device) を開始し一人一台、自

分のiPadを持って授業に臨んでいます。このBYODは小学校でも、来年度の三年生から開始します。BYODは中高では今年を含めて三年間で、小学校では四年間で完成します。それまでの間、自分のデバイスのない学年については必要に応じて学校所有のiPadやChromebookを貸し出し、授業や課題で活用していきます。

中高部の共学化以降は強く小中高一貫教育を打ち出しており、小学校から中学校へは約半数の児童が、中学から高校へは大部分の生徒が進級（東星内部の上位学校への進学。いわゆるエスカレーター式入学）しています。課題は、小学校から中学校へのエスカレーター式入学者を増やすことです。目標は一〇〇パーセントの児童生徒が東星内部で進級することです。同時に、高校からは単願受験者だけでなく、都立高校や県立高校との併願受験生を増やし、一定の生徒を入学させています。

大学進学については、知る人ぞ知るといふ実績を誇っています。例えば、二〇二〇度の高校卒業生は二十八人でしたが、約二割に迫る五人が上智大学に進学しています。

今年四月、ある有名なビジネス誌（受験産業の雑誌ではない）におい

て、『最強の中高一貫校』という特集が組まれました。その記事の中で東星学園中高は、レバレッジ度総合ランキングで首都圏第一位と発表されました。レバレッジとは、英語のLeverageのことで、直訳すれば、

①この作用、②この力、③（目的達成のための）力、影響力、手段などとなります。したがってレバレッジ度とは、一言でいえば、在学中に学校が生徒の学力伸長にどれだけ影響力をもったかということになります。受験用語を使えば、「（卒業時の偏差値）から（入学時の偏差値）を差し引いた値」ということになります。この値が東星学園では十六・

五ポイントで、首都圏一二校で第一位ということになるのだそうです（前述ビジネス雑誌調べ）。因みに首都圏以外を見ても、レバレッジ度が十六・五ポイントもある学校は他にないので、全国の中高一貫校（その雑誌に掲載されていたのは二四九校）中で第一位という名誉です。個性の尊重と学力の伸長を校是としている本学園にとっては嬉しいことです。

しかし、東星学園の存在理由はそこよりかなり遠いところにあります。何かができるのか、誰かの役に立つとか、そんなことを度外視して、「あ

なたはあなたであるというだけで愛される価値がある」。私たちが知らせたことはこのことです。東星学園の存在理由もそこにあります。

赤ちゃんを高い高いする両親を思い出してください。「たかい、たかい。ああ。いい子だ、いい子だ」と声をかけるでしょう。ミルクを飲ませてもらわなければならぬ。おむつも替えてもらわなくてはならぬ。まったく、人の手を借りなければ何もできない赤ちゃんを、親は無条件で肯定し、「いい子だ」と褒めます。

この姿こそ、神と人間との関わりの原型です。

人間は神様と一緒にいたがる存在だといったら、「いや、私は違う。神様なんかいらぬ」とおっしゃる方がいるかもしれません。しかし、「神様のほうは人間といつも一緒にいたがるお方です」と聞いたらどう思われるでしょうか。それはちょうど親を探し求める赤ちゃんに似ています。神様は私たちといっしょにいたがるお方です。イエス様が赤子としてこの世に降りてこられたことを想起すれば、このことは当然のことと思われれます。

（東星学園小・中・高等学校 校長）

大空に飛び立とう

杉山 智和

私達マ・メゾン光星は、那須の恵まれた自然環境の保全や広報活動の拡充を目的としてドローンを購入しました。

ドローンとは、プロペラがついたミニヘリコプターのような機械。このドローンにはデジタルカメラが搭載されており、この機械を上空に飛ばして、空から写真や映像を撮影できるのです。

まずはドローンの操作経験がある方にレクチャーを受けつつ、恐る恐る私も飛ばしてみることになりました。操作は自分の持っているスマホをコントローラーに繋げて行います。レバーを入れると、滑らかに機体が浮き始め、リモートルの高さで一旦止まってくれます。機体には平衡感覚や衝突を回避する等の様々なセンサーが付いているので、初めての私でも安心して操作することが出来ます。そして、万が一電波が途切れるようなことがあっても、離陸した地点をドローンが記憶していて、自分で戻ってきてくれる優れ者なのです。

空高く昇っていった機体は、高度五十メートル程になると、肉眼では豆粒ほどしか見えなくなり、映像が自分の「目」になります。ホドスが驚くことにスマホの映像は風に揺れることも全くなく、まるでテレビ放送で上空から綺麗な映像を鑑賞しているような美しさを

届けてくれています。操作している私たちはスマホの画像を見て「うわぁ、何て綺麗なんだろう」と思わず感嘆の声をあげていました。手のひらに載る小さな機械が、まるでヘリコプターからテレビカメラが撮ってくれているような映像を目の前に映し出してくれるのです。施設から上空わずか数十メートル



の映像は、私たちが地上で見慣れているはずの普段の風景とは全く違う世界でした。私たちのマ・メゾン光星が、緑豊かな大自然に抱かれた施設なのか、雄大な実感で出来ます。そして施設から広がっていった森の絨毯は、雄大な那須山に繋がっています。こうした空を飛ぶことが出来ない私たちが出発した新しい世界を見ること、が出来るようになったのです。感動を胸に、天皇陛下からいただいたこの広大な土地を未来に繋いでいきたいと思えます。

(マ・メゾン光星 事務副主任)

令和2年度決算報告

法人全体の貸借対照表の要旨 (令和3年3月31日現在) 単位:千円

Table with 4 columns: 資産の部 (流動資産, 固定資産, 基本財産, その他の固定資産), 負債・純資産の部 (流動負債, 固定負債, 負債合計, 基本金, 国庫補助金特別積立金, その他の積立金, 次期繰越活動収支差額, 純資産合計). Total assets: 9,019,682; Total liabilities/equity: 9,019,682.

資金収支計算書の要旨 (令和2年4月1日～令和3年3月31日) 単位:千円

Table with 4 columns: 事業区分 (社会福祉事業区分, 公益事業区分, 収益事業区分), 収入, 支出, 差額. Total revenue: 3,862,784; Total expenses: 3,781,391; Total surplus: 81,393.

事業活動計算書の要旨 (令和2年4月1日～令和3年3月31日) 単位:千円

Table with 4 columns: 事業区分 (社会福祉事業区分, 公益事業区分, 収益事業区分), 収入, 支出, 差額. Total revenue: 3,797,706; Total expenses: 3,685,941; Total surplus: 111,765.

社会福祉法人 慈生会 令和2年度 決算報告 六月九日の理事会および六月二十四日の評議員会で、令和2年度の決算が承認されましたので、その要旨を報告いたします。

財産目録の要旨 (令和3年3月31日現在) 単位:千円

Table with 2 columns: 区分 (資産の部: 基本財産土地, 基本財産建物, 負債の部), 金額 (9,019,682, (592,717), (2,923,289), 1,204,311, 7,815,371).

ベタニアの家

七月行事予定



- 1日 ☆福者ペトロ岐部司祭と 一八七殉教者
- 1日 聖ヨゼフホーム、開設記念日
- 10日 東星学園 幼稚園 入園説明会
- 10日 東星学園 幼稚園 入園説明会 小学校 学校説明会
- 13日 マ・メゾン光星開設記念ミサ
- 22日 《海の日》
- 23日 《スポーツの日》
- 23日 東京オリンピック開会式
- 23日 徳田保育園 夏祭り
- 25日 ☆祖父母と高齢者の世界祈願日

八月行事予定

- 6日 ☆主の変容
- 6日 15日 ☆日本カトリック 平和旬間
- 8日 《山の日》
- 8日 東京オリンピック閉会式
- 12日 ベトレヘムの園病院 聖母被昇天の祈りの集い
- 15日 ☆聖母の被昇天
- 24日 東京パラリンピック開会式

九月行事予定

- 1 10月4日 ☆「すべてのいのちを守るための月間」

- 5日 ☆被造物を大切にする 世界祈願日
- 5日 東京パラリンピック閉会式
- 11日 二代目理事長 ミルサン神父様 命日
- 11日 東星学園 幼稚園 入園説明会 小学校 学校説明会
- 14日 ☆十字架称賛
- 18日 徳田保育園 運動会
- 20日 《敬老の日》
- 22日 《秋分の日》
- 26日 ☆世界難民移住移動者の日



ベタニアホーム正面玄関の花壇

お知らせ
令和二年より、「ベタニアの家」へ頂いたご寄付は、寄付金控除の対象となりません。

近所のコンビニに買い物に行く途
中マスクをしていないのに気づき、
慌てて家にマスクを取りに帰ったこ
とのある方も多いのでは。

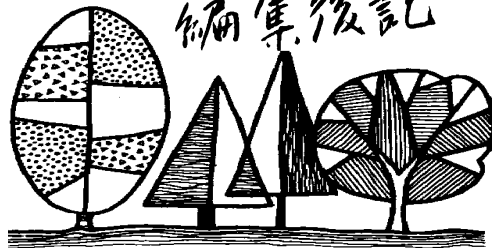
長引く緊急事態宣言が当たり前よ
うになってしまい、皆様も嫌気が差
し切っている状況ではないでしょ
うか。世間ではワクチン接種が始ま
っています。ベタニアホームも、ワ
クチンの接種を、六月〜七月にかけ
て、利用者、職員のほぼ全員
がする予定になっていま
す。今は、順調にワクチ
ン接種が終了することを
祈るばかりです。マスク
をしない日常生活がいつ
来るのでしょうか。

(中村 英男)

昨年(2020年)の五月六月頃、学
園二階ホームの外廊下を
二羽のツバメが行ったり
来たりを続けていた。きつ
とホームの玄関先辺りに
巣を作るのかも。でも巣を作られた
ら、どうしようか、子どもたちが棒
でつついて壊してしまうのではない
か。などと考えているうちに、巣を
作ることなく、いつの間にか来なく
なった。しかし、また今年も二羽の
ツバメが同じ様に来ている。今年
はどうするのか。あれこれ考えながら
見守りたい。

(関 広宣)

編集後記



今回マ・メゾン光星へのドロー
ン導入記事を投稿させていただきま
した。今まで地上からしか見られなかつ
た日常風景を空から俯瞰した時、世
界の広さと共に自分自身の小ささを
改めて感じました。物事を新しい視
点から広く捉えなおす。しかもドロー
ンの操縦者は、しっかりと地に足を
付けながら、世界を見渡せる視点を
手に入れられるのです。鳥にもでき
ない能力を手に入れて、
その能力をどのように生
かすか。私達の発想力と
実行力を大切にしていき
たいと思いました。

(杉山 智和)

七月一日は一九三〇年
代の厳しい迫害時代に殉
教した日本全国の老若男
女一八八人の福者の記念
日です。コロナ禍ながら、
江戸の殉教地五カ所を巡
礼しました。公園や教会
の一角に建つ記念碑の前
に立ち、禁教令が發布された世の中
と、コロナ禍の世界、皆の家である
地球そのものが壊れていく現代が重
なります。どの時代も悪の力に挑戦
されていると感じます。殉教者の祈
りの心は「彼らは何をしているか知
らない」と赦しを願われた主の心と
同じ。回心に向かわせる力があります。

(Sr中野 利恵)